

●新たな共生社会の構築に向けて●

日系人の生活実態・意識調査 96

報 告 書



平成9年3月

浜松市国際交流室

日系人の生活実態・意識調査 '96

報 告 書

はじめに

近年における国際化の進展は予想以上のペースで進み、政治、経済のみならず日常生活においても広く関わりがあることを実感させられます。その一つとして、労働力の国際移動という現象がここ数年顕著になっています。

浜松市における外国人登録者数は13,000人を超え、外国人混住社会ともいふべき様相を呈しています。これは、平成2年6月の「入管法（出入国管理及び難民認定法）」の改正により、南米日系人の流入が急増したことによるものです。特に、ブラジル国籍者が登録外国人の過半数を占め、この数は全国の市町村の中でもっとも多いものとなっています。

こうしたニューカマーの地域社会への受け入れは、かつて日本社会が経験したことのないことですが、行政をはじめ企業、市民団体、地域社会でそれぞれの取り組みがなされつつあります。浜松での共生社会づくりの取り組みは関係機関から注目される所であり、平成6年度に自治省で創設された「世界に開かれたまち」大臣表彰の初の受賞団体となりました。

この報告書は、平成4年度に実施した「浜松市における外国人の生活実態、意識調査—南米日系人を中心に」の追跡調査の一環として、平成8年6月に東洋大学社会学部（喜多川助教授）とNHK静岡放送局が共同実施したものを、両者のご快諾をいただきとりまとめたものです。ここに心からの感謝を申し上げます。

平成4年度の調査時点から4年間が経過し、この間、景気後退、円高などの経済変化があり、また、ニューカマーの数も増加基調にあります。こうした中で、日系人の生活実態、意識調査にも微妙な変化がみられます。端的に表現すれば、外国人との共生が日常茶飯事的な風景になってきたといえるかもしれません。

本書が、さらなる共生社会づくりへ向けての一助になることを願っております。

平成9年3月

浜松市国際交流室

調査のあらまし

浜松市では、平成4年度に「浜松市における外国人の生活実態・意識調査」を行った（委託先：東洋大学社会学部）。調査項目は約50項目にわたり、429の調査回答を得た。

今回の調査は、東洋大学社会学部とNHKが共同して行ったものであり、前回との比較ができるように同一設問を中心に42項目を用意した。

サンプル数としては、前回調査時の約半数の210が得られた。

なお、当報告書のコメントは浜松市国際交流室のものである。

- 調査月日
平成8年6月1日（土）、2日（日）
- 調査場所
浜松駅北口広場
イトーヨーカ堂前
ジャ・ブラ（通信業代理店）
セルビットウ（ブラジル日用雑貨店）
- 調査項目
別掲のとおり
- 調査方法
面接法
- サンプル数
210

目 次

はじめに

調査のあらまし

【基本属性】 _____ Page 1

- 1 国籍
- 2 登録市町村
- 3 年齢
- 4 性別
- 5 配偶者
- 6 日系何世か
- 7 日本語能力
- 8 最終学歴
- 9 来日前の職業
- 10-1 日本での家族構成
- 10-2 日本での家族員数
- 10-3 呼び寄せたい家族

【日本での仕事】 _____ Page 7

- 11-1 来日の目的
- 11-2 貯蓄の目的
- 12-1 健康保険への加入
- 12-2 保険の種類
- 13-1 日本での治療経験
- 13-2 治療時に困ったこと
- 14 日本滞在期間
- 15-1 不景気の影響
- 15-2 帰国を考えたこと
- 16 就労業種
- 17-1 時間給
- 17-2 平均月収
- 18 月収に対する満足度

【日本での生活】 _____ Page 13

- 19 休日の過ごし方
- 20-1 住居形態

20-2 通勤方法

21 日本人従業員との関係

22 雇用主との関係

23 仕事内容の満足度

24 生活の満足度

25-1 差別や偏見意識

25-2 差別や偏見の内容

26 日本人意識

27 日本人子孫としての誇り

28 悩みや心配ごと

29 困ったときの相談相手

30 地域社会での日本人との交流

31 日本人との人間関係の壁

32 近隣の日系人の居住状況

33 近隣の日系人との関係

34 頼りにしているメディア

35 行政サービスへの要望

【将来の生活】 _____ Page 23

36 日本への定住意識

37 両国での生活基盤意識

【子供の教育】 _____ Page 24

38 子供の教育の悩み

39 母国の分校への通学

40-1 母国語の補習クラスへの通学

40-2 同通学意向

41-1 日本語の補習クラスへの通学

41-2 同通学意向

42-1 父子間の使用言語

42-2 母子間の使用言語

【集計結果表】 _____ Page 29

調査結果及びコメント

【基本属性】

1 国籍

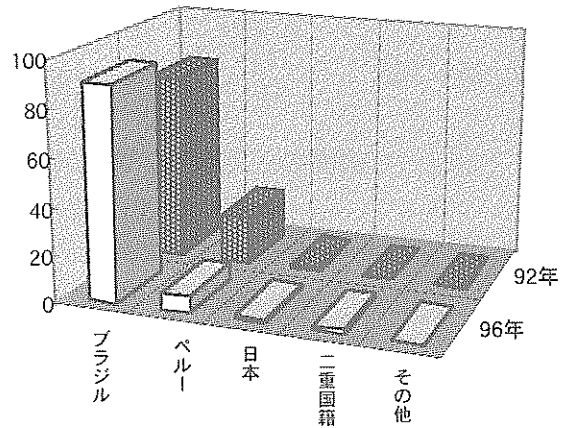
設問「あなたの国籍は？」

- ①ブラジル 185(90.2%)
- ②ペルー 14(6.8%)
- ③日本国籍 3(1.5%)
- ④二重国籍 3(1.5%)
- ⑤その他 0(0.0%)

(N = 205)

日系人対象の調査であり、その国籍は「ブラジル」90.2%、「ペルー」6.8%である。サンプリング率は外国人登録の割合にほぼ等しく、母集団に近い結果となっている。

前回調査では、ペルー国籍者のサンプル数が実際の割合よりやや高かったことを、以下の対比において考慮されたい。



注) 縦軸の単位は%。以下同じ

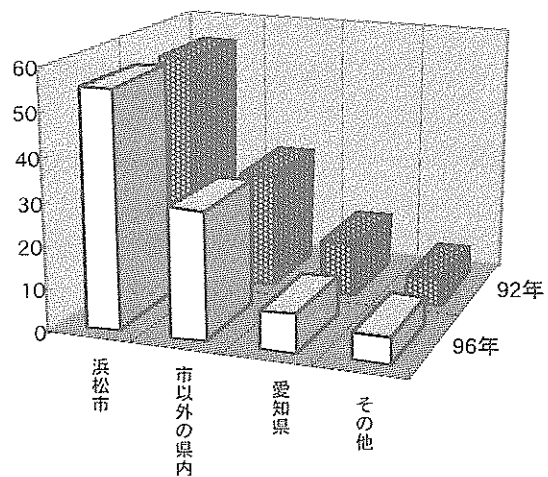
2 登録市町村

設問「あなたが、現在、外国人登録をしているところはどこですか？」

- ①浜松市 113(55.1%)
- ②浜松市以外の県内 61(29.8%)
- ③愛知県 18(8.8%)
- ④その他 13(6.3%)

(N = 205)

外国人登録地としては、「浜松市」が55.1%と過半数を占める。「浜松市以外の県内」が29.8%みられ、近隣市町村から休日を利用しての来街であることをうかがわせる。「愛知県」や「その他」の累計が15.1%みられる。これらは、一部が県外からの親族訪問であったり、外国人登録地を変更していないケースも含まれるものと思われる。



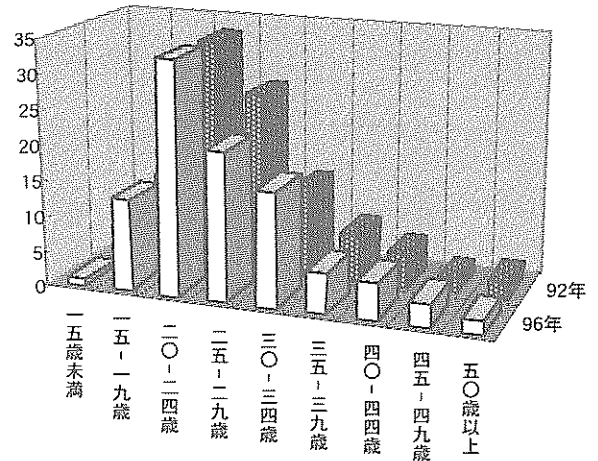
3 年 齢

設問「あなたの年齢は？」

① 15歳未満	2(0.9%)
② 15-19歳	27(12.9%)
③ 20-24歳	69(32.9%)
④ 25-29歳	44(21.0%)
⑤ 30-34歳	34(16.2%)
⑥ 35-39歳	12(5.7%)
⑦ 40-44歳	11(5.2%)
⑧ 45-49歳	7(3.3%)
⑨ 50歳以上	4(1.9%)

(N = 210)

「20-24歳」が32.9%、「25-29歳」21.0%であり、これら20代で過半数を占めている。40代以上は約1割にとどまっている。回答者の平均年齢は27.2歳である。



4 性 別

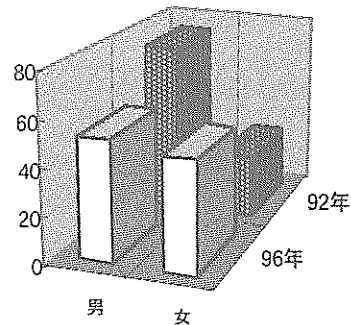
設問「あなたの性別は？」

①男性	109(52.4%)
②女性	99(47.6%)

(N = 208)

「男性」52.4%、「女性」47.6%と、ほぼ半数ずつとなっている。これも外国人登録の男女割合にほぼ近いものである。

前回の調査では、男性の割合が母集団より20ポイント近く高くなっていたことにも注意しておきたい。



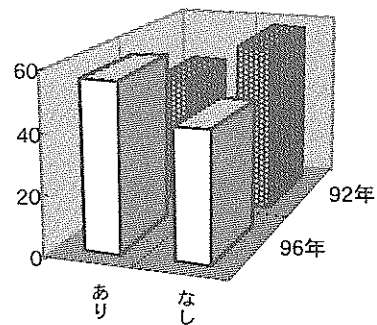
5 配偶者

設問「配偶者がありますか？」

①あり	117(56.3%)
②なし	91(43.7%)

(N = 208)

「あり」が56.3%、「なし」43.7%と既婚者の割合が上回っている。前回調査時においては、この割合が逆になっており、既婚率は13.5ポイントの上昇という結果である。



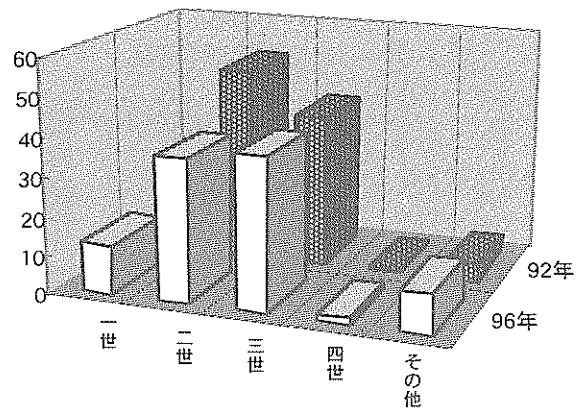
6 日系何世か

設問「あなたは日系何世ですか？」

① 1世	25(12.6%)
② 2世	73(36.7%)
③ 3世	78(39.2%)
④ 4世	3(1.5%)
⑤ その他	20(10.0%)

(N = 199)

「3世」が39.2%、「2世」36.7%と両者で約4分の3を占める。「1世」は12.6%であり、前回調査時より7.3ポイント高くなっている。「その他」が1割みられるが、これは非日系人（配偶者）であると思われる。



7 日本語能力

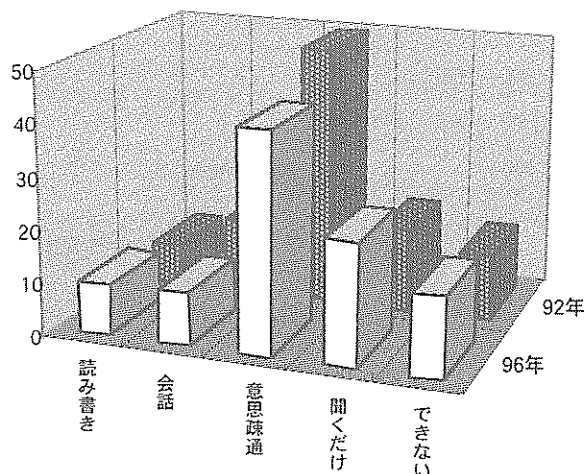
設問「あなたの日本語の能力は？」

① 読み書きともにできる	20(9.6%)
② 会話ならできる	21(10.1%)
③ 何とか意思疎通できる	87(41.8%)
④ 聞くだけなら少しできる	48(23.1%)
⑤ ほとんどできない	32(15.4%)

(N = 208)

「何とか意思疎通できる」がもっとも多く41.8%、次いで「聞くだけなら少しできる」23.1%。「ほとんどできない」とする回答も15.4%みられ、前回調査よりも2.7ポイント上昇している。全般的に、日本語能力は低下傾向にあることがわかる。

一方、1世の割合が高くなっていること、あるいは滞在期間の長期化の反映であろうか、「読み書きともにできる」の割合もわずかながら上昇している。



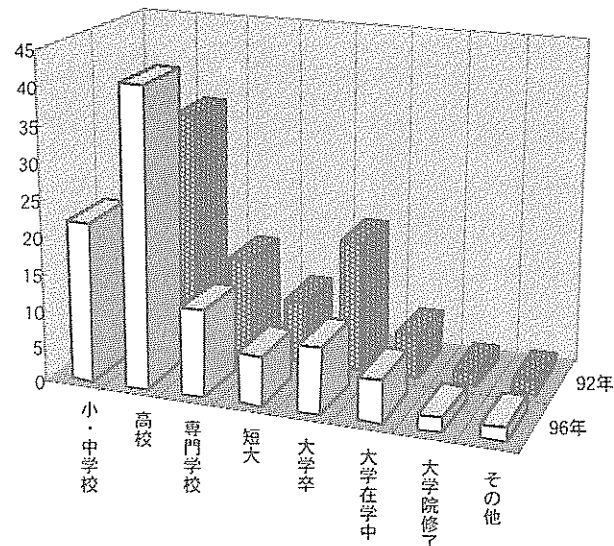
8 最終学歴

設問「あなたの最終学歴は？」

①小・中学校卒	46(21.9%)
②高校卒	86(41.0%)
③専門学校卒	25(11.9%)
④短大卒	14(6.7%)
⑤大学卒	19(9.0%)
⑥大学在学中	12(5.7%)
⑦大学院修了	4(1.9%)
⑧その他	4(1.9%)

(N = 210)

もっとも多いのが「高校卒」の41.0%、次いで「小・中学校卒」の21.9%と両者で約6割。この層が前回よりも割合が高くなっている（両者で12.7ポイントの上昇）。専門学校以上の高等教育機関卒とするものの割合も35.2%みられる。



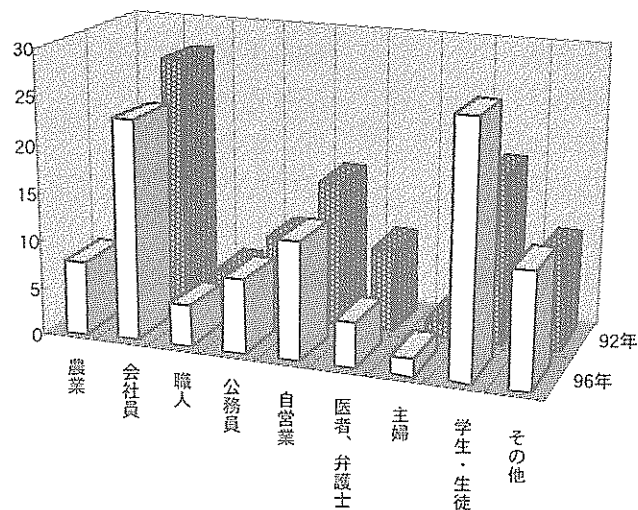
9 来日前の職業

設問「あなたの来日前の職業は何ですか？」

①農業	16(7.6%)
②会社員	48(23.0%)
③職人	9(4.3%)
④公務員	16(7.7%)
⑤自営業	26(12.4%)
⑥医者、弁護士、教員	10(4.8%)
⑦主婦	4(1.9%)
⑧学生・生徒	55(26.3%)
⑨その他	25(12.0%)

(N = 209)

もっとも多いのが「学生・生徒」の26.3%、次いで「会社員」23.0%、「自営業」12.4%となっている。前回調査時よりも割合が高くなっているのは、「学生・生徒」で8.5ポイント。逆に、低下しているのは「会社員」3.9ポイント「医者、弁護士、教員」3.9ポイントである。



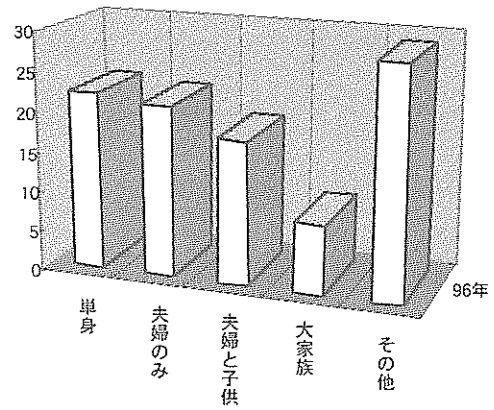
10-1 日本での家族構成

設問「あなたの日本での、現在の家族構成は次のどれですか？」

① 単身	46(22.6%)
② 夫婦のみ	44(21.6%)
③ 夫婦と子供	37(18.1%)
④ 祖父母を含む大家族	18(8.8%)
⑤ その他	59(28.9%)

(N = 204)

「単身」が22.6%と最も高く、以下、「夫婦のみ」21.6%、「夫婦と子供」18.1%。「その他」とするものが28.9%みられる。(前回設問なし)



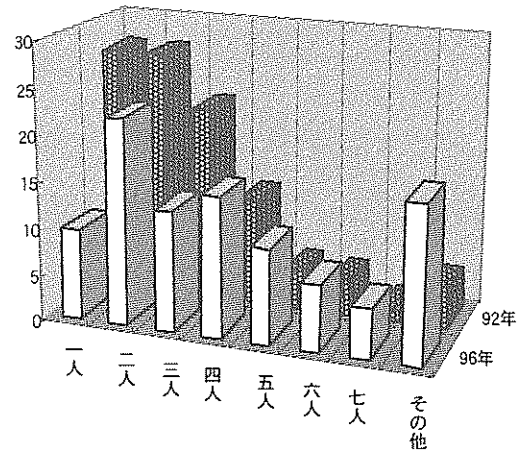
10-2 日本での家族員数

設問「あなたの日本での家族は全部で何人ですか？」

① 1人	18(9.8%)
② 2人	41(22.3%)
③ 3人	24(13.1%)
④ 4人	28(15.2%)
⑤ 5人	19(10.3%)
⑥ 6人	13(7.1%)
⑦ 7人	10(5.4%)
⑧ 8人	5(2.7%)
⑨ 9人	0(0.0%)
⑩ 10人以上	26(14.1%)

(N = 184)

人数別では、「2人」22.3%、「4人」15.2%、「3人」13.1%、「5人」10.3%であり、これらで7割以上を占める。「10人以上」とする回答も14.1%みられる。ポルトガル語のFamiliaには、「家族」の意味のほかに「一族、一統」の意味も含まれているので親戚等もカウントした可能性もある。



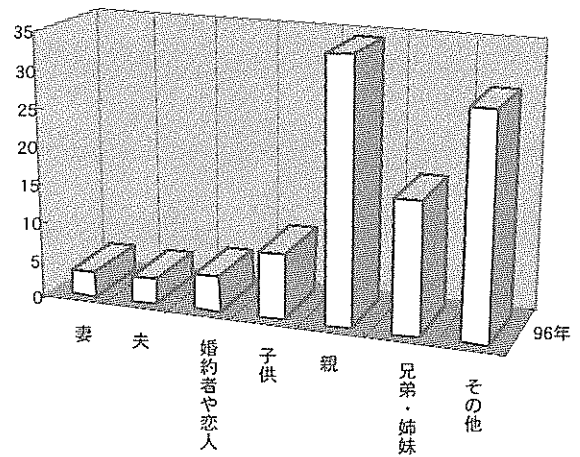
10-3 呼び寄せたい家族

設問「さらに呼び寄せたい家族などがありますか？」

①妻	5(3.3%)
②夫	5(3.3%)
③婚約者や恋人	7(4.6%)
④子供	13(8.6%)
⑤親	52(34.2%)
⑥兄弟・姉妹	26(17.1%)
⑦その他	44(28.9%)

(N = 152)

もっとも多いのが「親」であり34.2%、次いで「兄弟・姉妹」の17.1%。依然として、家族呼び寄せ願望が高いといえよう。「妻」「夫」とする回答が各3.3%みられ、夫婦が日本と母国に別居していることを示す。「その他」が29.0%であり、これには友人・知人、親戚などが含まれるものと思われる。(前回設問なし)



【日本での仕事】

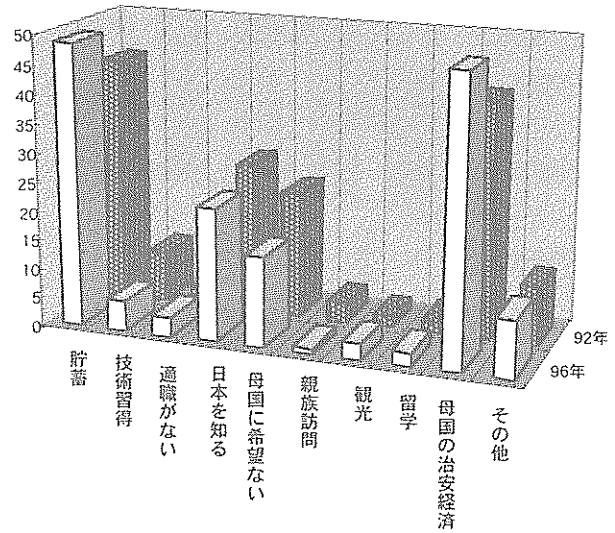
11-1 来日の目的

設問「来日の目的は何ですか？」

①貯蓄	102(48.6%)
②技術習得	11(5.2%)
③適職がない	7(3.3%)
④日本を知るため	48(22.9%)
⑤母国には希望がない	33(15.7%)
⑥親族訪問や先祖の墓参	2(1.0%)
⑦観光	6(2.9%)
⑧留学	5(2.4%)
⑨母国の治安や経済が悪い	102(48.6%)
⑩その他	21(10.0%)

(N = 337。複数回答)

ウェートの高いもののベスト3は、「貯蓄」、「母国の治安や経済が悪い」の各48.6%と「日本を知るため」22.9%。貯蓄、母国の治安や経済ともポイントはそれぞれ6.2、8.3ずつ上昇している。前回調査では「親族訪問、先祖の墓参」とする回答が3.3%みられたが、今回は1.0%に低下している。



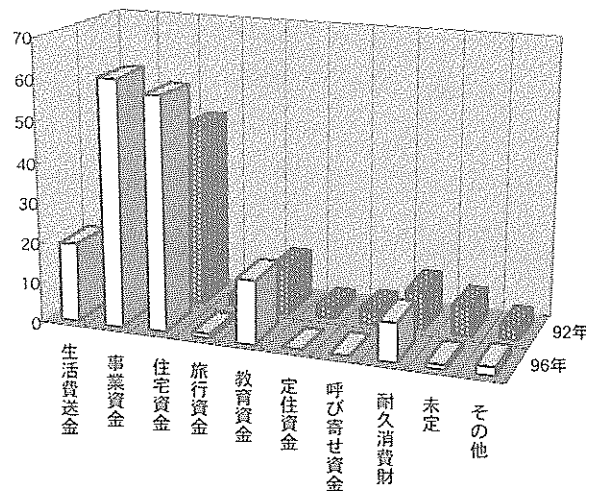
11-2 貯蓄の目的

設問「貯蓄の目的は何ですか？」

①生活費送金	20(19.6%)
②事業資金	62(60.8%)
③住宅資金	59(57.8%)
④旅行資金	1(1.0%)
⑤教育資金	16(15.7%)
⑥日本定住資金	0(0.0%)
⑦家族の日本呼び寄せ資金	0(0.0%)
⑧耐久消費財購入資金	10(9.8%)
⑨未定	1(1.0%)
⑩その他	2(2.0%)

(N = 171。複数回答)

ここでの上位を占めるのは「事業資金」60.8%、「住宅資金」57.8%である。「生活費送金」とする回答は19.6%にとどまり、前回より5.1ポイント低下している。



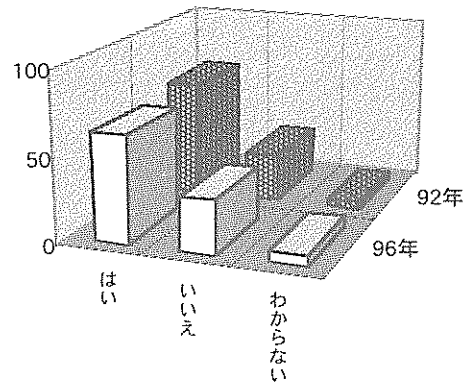
12-1 健康保険への加入

設問「健康保険などに加入していますか？」

- ①はい 128(62.7%)
- ②いいえ 63(30.9%)
- ③わからない 13(6.4%)

(N = 204)

「はい (加入している)」が62.7%、「いいえ」30.9%。加入者割合は4.5ポイントの低ドであり、3割の人は未加入状態にある。「わからない」とする回答が6.4%である。



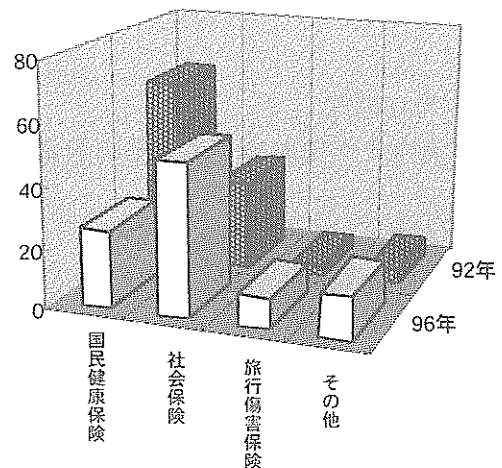
12-2 保険の種類

設問「その種類は？」

- ①国民健康保険 31(25.6%)
- ②社会保険 61(50.4%)
- ③旅行傷害保険 12(9.9%)
- ④その他 17(14.1%)

(N = 121)

保険加入者に保険の種類を問うている。「社会保険」が50.4%、「国民健康保険」25.6%と前回調査とはこの割合が逆転している。国保への加入率は、36.5ポイントの大幅な低下である。これは、社会保険への移行がなされた結果である。「旅行傷害保険」が9.9%であり、前回よりも6.7ポイント上昇している。



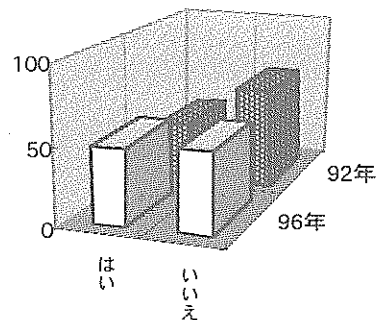
13-1 日本での治療経験

設問「日本で、病気をしたりけがをして、病院で治療を受けたことがありますか？」

- ①はい 95(48.5%)
- ②いいえ 101(51.5%)

(N = 196)

「はい (ある)」48.5%、「いいえ (なし)」51.5%とほぼ半々といった結果である。「ある」とする回答は前回よりも11.7ポイントの上昇である。この要因としては、滞在の長期化、そして日本の医療や保険に対する理解が進んだ結果であろう。



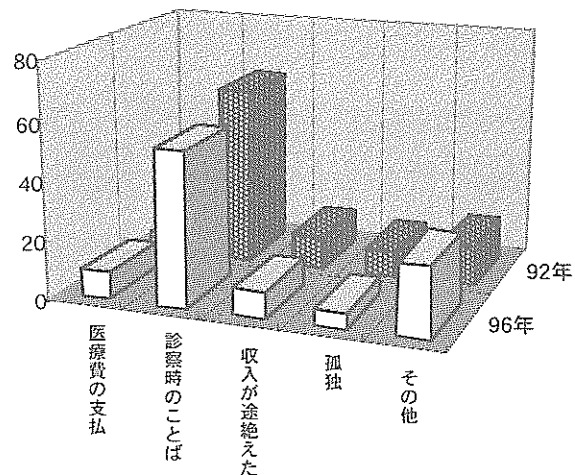
13-2 治療時に困ったこと

設問「そのとき、困ったことは何ですか？」

- ①医療費の支払 7(9.2%)
- ②診察時にことばがわからない 40(52.6%)
- ③入院で収入が途絶えた 7(9.2%)
- ④母国人の看護などがなく孤独 4(5.3%)
- ⑤その他 18(23.7%)

(N = 76)

「ことばがわからない」が52.6%と過半数を占め、生命に関わることだけに問題となっている。「医療費の支払」「入院で収入が途絶える」という経済的理由が各9.2%と続く。「その他」とする回答が23.7%あり、異国での病気治療に対する不安をうかがわせている。



14 日本滞在期間

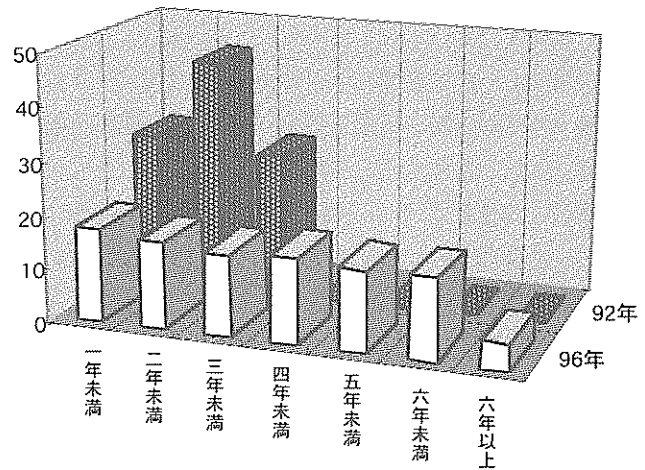
設問「あなたのこれまでの通算の日本滞在期間は？」

- ①1年未満 35(17.5%)
- ②1-2年未満 32(16.1%)
- ③2-3年未満 30(15.1%)
- ④3-4年未満 32(16.1%)
- ⑤4-5年未満 30(15.1%)
- ⑥5-6年未満 30(15.1%)
- ⑦6-7年未満 8(4.0%)
- ⑧7年以上 2(1.0%)

(N = 199)

「1年未満」～「6年未満」までとする回答がそれぞれ15%から17%の範囲で並んでいる。「5年-6年未満」とする回答者は入管法の改正施行と同時期に訪日したことになり、その割合は15.1%である。

前回調査では、「2年未満」とする回答累計が73.0%であったが、今回では33.6%にとどまる。滞在の長期化が顕著に現われているものといえる。



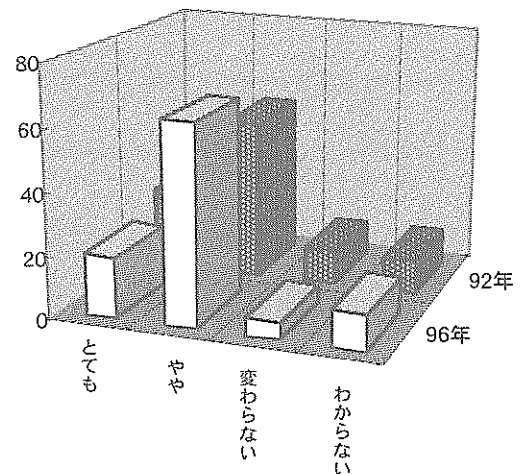
15-1 不景気の影響

設問「不景気の影響で、仕事を見つけにくくなりましたか？」

- ①とても見つけにくい 40(19.5%)
- ②やや見つけにくい 131(63.9%)
- ③変わらない 11(5.4%)
- ④わからない 23(11.2%)

(N = 205)

「やや見つけにくい」63.9%、「とてもみつけにくい」19.5%であり両者で8割以上を占める。これらは前回より5.1ポイントの上昇である。景気後退下での影響は、4年前以上になっているものとみられる。これは、外国人労働者市場がある程度飽和状態に近づいてきたということかもしれない。



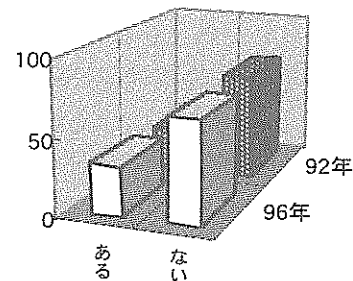
15-2 帰国を考えたこと

設問「仕事が見つからなくて、帰国を考えたことがありますか？」

- ①ある 66(32.7%)
- ②ない 136(67.3%)

(N = 202)

「ない」とする回答は67.3%であり、3人に2人の割合である。「ある」が32.7%で、前回よりも3.4ポイント上昇している。



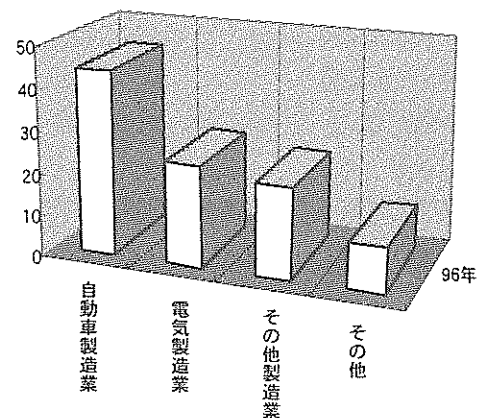
16 就労業種

設問「現在、あなたが働いているところは次のうちどれですか？」

- ①自動車関係の製造業 88(44.0%)
- ②電気関係の製造業 48(24.0%)
- ③その他の製造業 43(21.5%)
- ④冷凍食品などの食品関係 2(1.0%)
- ⑤レストランなどの飲食関係 0(0.0%)
- ⑥ブラジル料理店、同小売店 2(1.0%)
- ⑦クリーニング業 0(0.0%)
- ⑧建設業 2(1.0%)
- ⑨その他 15(7.5%)

(N = 200)

「自動車関係の製造業」44.0%、「電気関係の製造業」24.0%、「その他の製造業」21.5%とこれら製造業で約9割を占める。前回の調査では



職種として設問しており、「熟練工」61.6%、「非熟練工」20.6%である。非製造業部門へのシフトはあまり進んでいないといえよう。(前回設問なし)

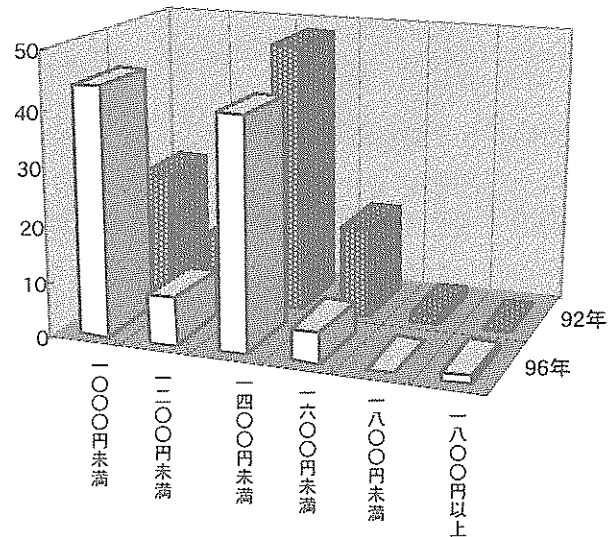
17-1 時間給

設問「現在の賃金(時間給)はいくらですか？」

① 1,000円未満	73(44.0%)
② 1,000-1,200円未満	14(8.4%)
③ 1,200-1,400円未満	68(41.0%)
④ 1,400-1,600円未満	9(5.4%)
⑤ 1,600-1,800円未満	0(0.0%)
⑥ 1,800円以上	2(1.2%)

(N = 166)

「1,000円未満」が44.0%ともっとも多い。前回調査よりも21.7ポイントの上昇である。次に、「1,200-1,400円未満」が41.0%であり、こちらは6.8ポイントの低下。これら2つの層は、性差によるものと思われる。平均時間給は1,093円であり、前回調査よりも低下傾向を示している。



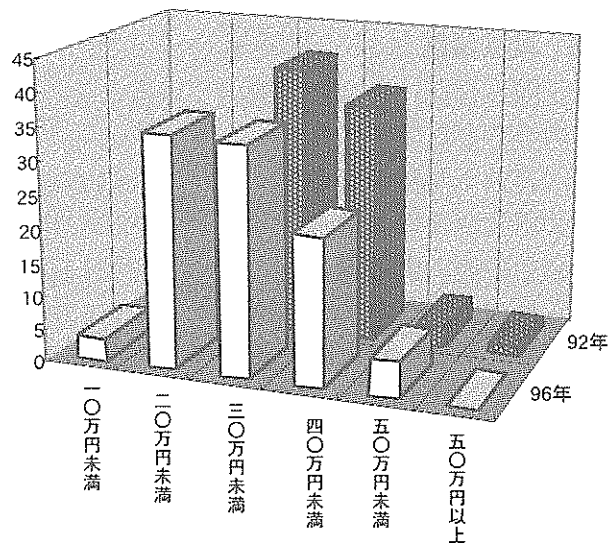
17-2 平均月収

設問「あなたの最近3か月間の平均月収はいくらですか？」

① 10万円未満	5(3.4%)
② 10-20万円未満	52(34.9%)
③ 20-30万円未満	51(34.2%)
④ 30-40万円未満	33(22.1%)
⑤ 40-50万円未満	8(5.4%)
⑥ 50万円以上	0(0.0%)

(N = 149)

「10-20万円未満」が34.9%、「20-30万円未満」34.2%と両者で約7割を占める。時間給の低下を反映して、「10-20万円未満」層は16.1ポイントの上昇である。製造業への就業が大半であるが、給与格差もかなりみられる。平均月収は22.9万円であり、前回調査よりも低下している。



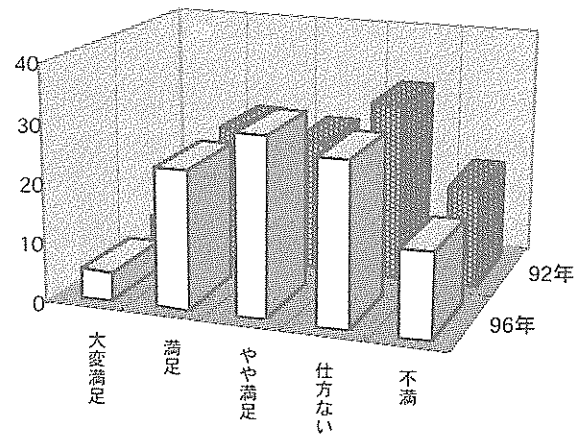
18 月収に対する満足度

設問「現在の月収に対する満足度は？」

①大変満足	9(4.7%)
②満足	44(23.3%)
③やや満足	57(30.2%)
④不景気なので仕方ない	52(27.5%)
⑤不満	27(14.3%)

(N = 189)

「やや満足」30.2%、「満足」23.3%、「大変満足」4.8%と、これら満足とする回答は6割近くにのぼる。「不満」とする回答も14.3%みられるが、前回調査時よりも2.8ポイント低下している。



【日本での生活】

19 休日の過ごし方

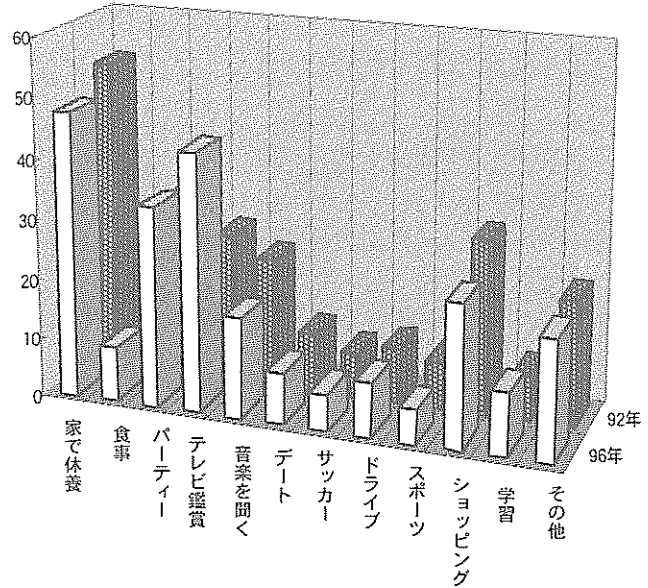
設問「あなたの休日の主な過ごし方を教えてください」

①家で休養	100(47.6%)
②母国料理店などで食事	19(9.0%)
③親族、友人とのホームパーティー	70(33.3%)
④テレビやビデオ鑑賞	90(42.9%)
⑤音楽を聞く	35(16.7%)
⑥パチンコ	4(1.9%)
⑦デート	18(8.6%)
⑧サッカーをする	13(6.2%)
⑨サッカーを観戦	4(1.9%)
⑩ドライブ	19(9.0%)
⑪野球、スキーなどのスポーツ	12(5.7%)
⑫ショッピング	50(23.8%)
⑬旅行	15(7.1%)
⑭日本語などの学習	22(10.5%)
⑮その他	20(9.5%)

(N = 491。複数回答)

ベスト3は、「家で休養」47.6%、「テレビ・ビデオ鑑賞」42.9%、「ホームパーティー」33.3%である。インドアで過ごす傾向が強いことがうかがえる。特に、テレビ・ビデオ鑑賞は前回よりも17.7ポイントの上昇である。ブラジルの人気番組のビデオのレンタルが充実したことによるものであろうか。

アウトドア行動では、「ショッピング」23.8%がもっとも高く、以下「母国料理店などでの食事」9.0%、「ドライブ」9.0%、「デート」8.6%などとなっている。中高年層ではインドア指向、若年層ではアウトドア指向がみられるのであろうか。



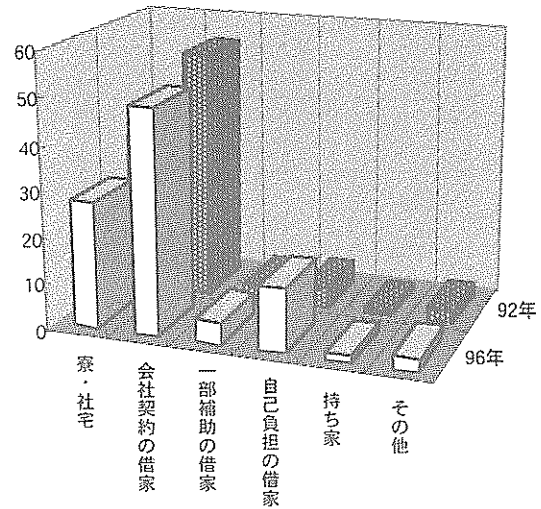
20-1 住居形態

設問「現在、住居はどうしていますか」

①会社の寮や社宅	57(27.7%)
②会社契約の借家	101(49.0%)
③会社が一部補助の借家	10(4.9%)
④全部自己負担の借家	29(14.1%)
⑤持ち家	3(1.4%)
⑥その他	6(2.9%)

(N = 206)

「会社契約の借家」が49.0%と半数近くを占め、次に「会社の寮や社宅」27.7%であり、会社が関与しているケースが多い。一方、「全部自己負担の借家」14.1%となっており、前回調査との比較では、9.7ポイント上昇しているのが注目される。



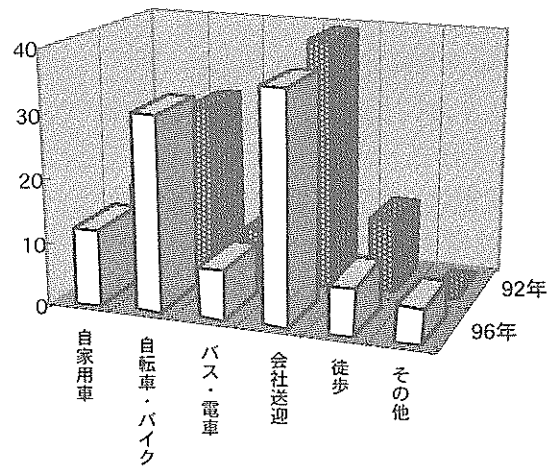
20-2 通勤方法

設問「通勤方法は、次のどれですか？」

①自家用車	24(11.9%)
②自転車、バイク	62(30.8%)
③バス、電車	16(8.0%)
④会社が送迎	73(36.3%)
⑤徒歩	15(7.5%)
⑥その他	11(5.5%)

(N = 201)

「会社が送迎」とする回答が36.3%、「自転車、バイク」30.8%、さらに「自家用車」が11.9%となっている。公共交通機関である「バス、電車」が8.0%であるのに対し、「徒歩」が7.5%となっており、かならずしも職住近接でないといえよう。前回調査との比較でも、徒歩は4.1ポイント低下している。



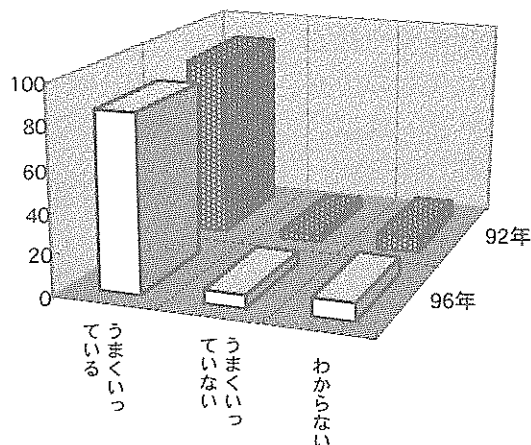
21 日本人従業員との関係

設問「職場での日本人従業員との関係はうまくいっていますか？」

- ①うまくいっている 175(85.8%)
- ②うまくいっていない 12(5.9%)
- ③わからない 17(8.3%)

(N = 204)

「うまくいっている」が85.8%と大半を占める。「うまくいっていない」とするものは5.9%と少数ではあるが、前回よりも2.1ポイント上昇している。



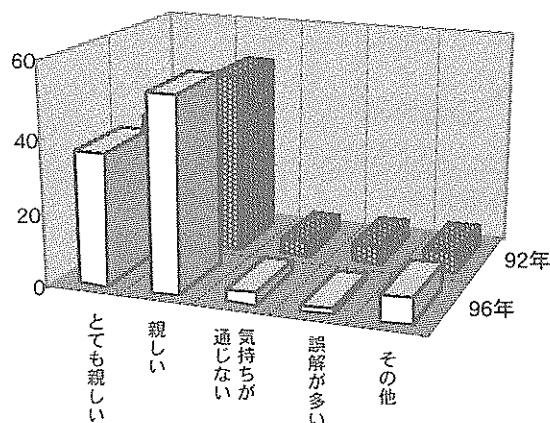
22 雇用主との関係

設問「雇用主との関係はどうですか？」

- ①とても親しい 72(35.6%)
- ②親しい 107(53.0%)
- ③気持ちが通じない 6(3.0%)
- ④誤解が多い 3(1.5%)
- ⑤その他 14(6.9%)

(N = 202)

雇用主との関係では、「親しい」53.0%、「とても親しい」35.6%と両方で9割近くとなり、従業員と同様に良好な関係にあるといえよう。「誤解が多い」とする回答はわずかに1.5%であり、前回よりも3.3ポイント低下している。



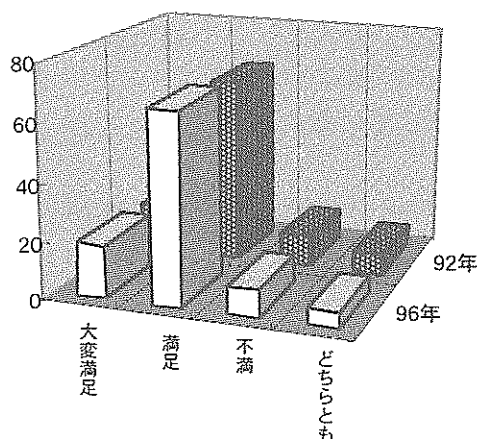
23 仕事内容の満足度

設問「今の仕事の内容に満足していますか？」

- ①大変満足 37(18.3%)
- ②満足 134(66.3%)
- ③不満 20(9.9%)
- ④どちらともいえない 11(5.5%)

(N = 202)

「満足」66.3%、「大変満足」18.3%と両方で8割以上を占める。満足度はかなり高いといえよう。前回調査でもほぼ同じような結果になっている。設問18の「[月収に対する満足度]」との比較では、仕事に対する不満度は相対的に低くなっている。



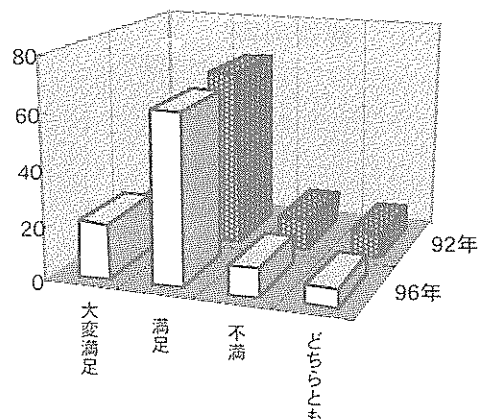
24 生活の満足度

設問「あなたは、現在の生活に満足していますか？」

- | | |
|------------|------------|
| ①大変満足 | 42(20.3%) |
| ②満足 | 129(62.3%) |
| ③不満 | 22(10.6%) |
| ④どちらともいえない | 14(6.8%) |

(N = 207)

仕事への満足度とほぼ同じ傾向であり、「満足」62.3%、「大変満足」20.3%と両方で8割以上を占める。



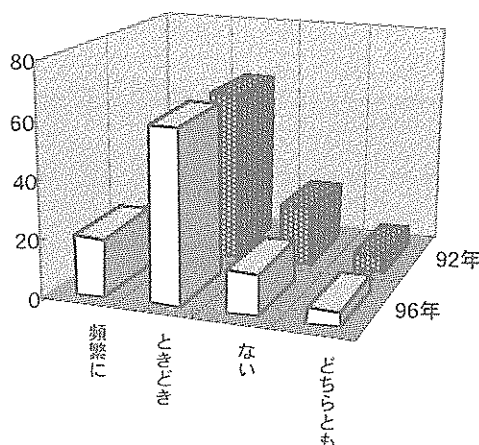
25-1 差別や偏見意識

設問「あなたは、日本で差別や偏見を感じたことがありますか？」

- | | |
|------------|------------|
| ①頻繁に | 40(19.9%) |
| ②ときどき | 121(60.2%) |
| ③ない | 30(14.9%) |
| ④どちらともいえない | 10(5.0%) |

(N = 201)

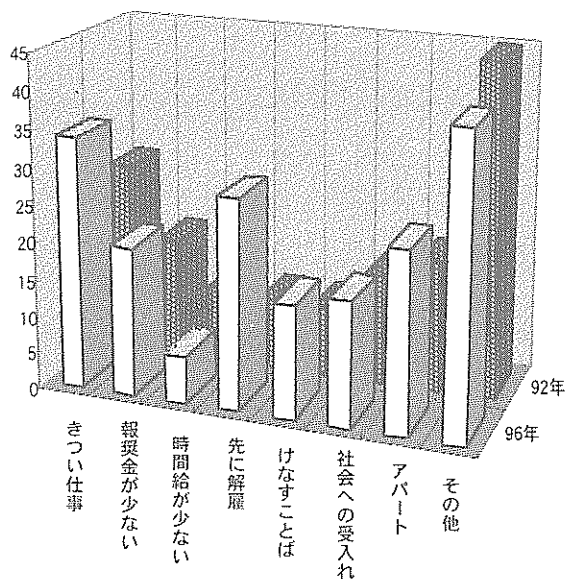
「ときどきある」とする回答が60.2%、「頻繁にある」19.9%と何らかの差別や偏見を感じている人は8割にもものぼる。「ない」とするものが5.6ポイント低下しているのに対し、「頻繁」とする回答が6.0ポイント上昇しているのが注目される。いずれにしろ、これらの意識には個人差があることはいうまでもない。



25-2 差別や偏見の内容

設問「差別や偏見は次のうちどれですか？」

- | | |
|----------------|-----------|
| ①きつい仕事をまわされる | 71(33.8%) |
| ②報奨金(ボーナス)が少ない | 42(20.0%) |
| ③時間給が少ない | 13(6.2%) |
| ④きつい時間帯にまわされる | 9(4.3%) |
| ⑤住居が狭い | 13(6.2%) |
| ⑥給料支払が遅れる | 4(1.9%) |
| ⑦日本人より先に解雇される | 59(28.1%) |
| ⑧社員食堂が日本人とは別 | 10(4.8%) |
| ⑨仕事を全部教えてくれない | 16(7.6%) |
| ⑩けなすことばをかけられる | 32(15.2%) |
| ⑪日本人社会に受入れられない | 35(16.7%) |
| ⑫仕事を見つけにくい | 15(7.1%) |



⑬アパートを貸してくれない 51(24.3%)

⑭その他 17(8.1%)

(N = 387。複数回答)

上位を占めるものは、「きつい仕事をまわされる」33.8%、「日本人より先に解雇される」28.1%、「アパートを貸してくれない」24.3%、さらに「ボーナスが少ない」20.0%である。これらは、差別や偏見といえないようなものもあるが、「けなすようなことばをかけられる」15.2%、「社員食堂が日本人とは別」4.8%という回答もある。前回調査との比較では、食堂が別であることや先に解雇されることに対するポイントが上昇している。

26 日本人意識

設問「あなたは、ニホンジンの意識をもっていますか？」

①はい 18(9.1%)

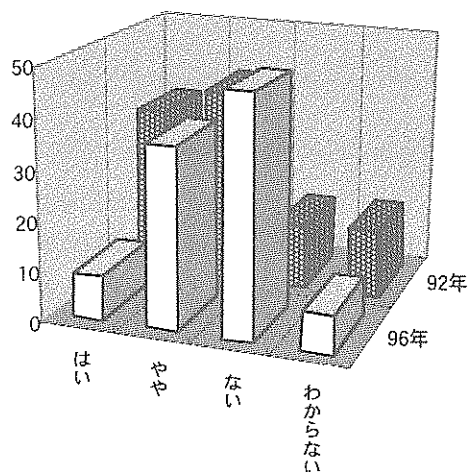
②やや 71(35.8%)

③ない 94(47.5%)

④わからない 15(7.6%)

(N = 198)

「ない」が47.5%と首位にあり、前回よりも34.5ポイントの上昇である。これは、若年層が多くなっていることによるものであろうか。あるいは、配偶者が非日系人であるケースが増えたということも考えられる。一方で、「ややある」35.8%、「はい(ある)」9.0%と両方で半数近くを占めていることも事実である。二極分化の傾向が読み取れる。



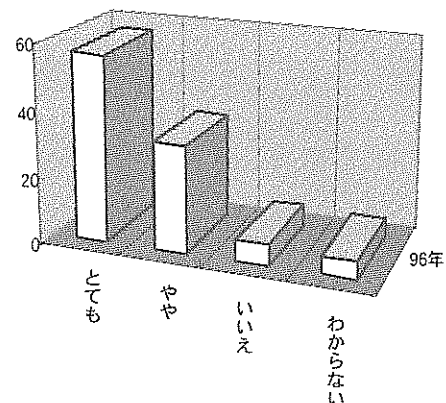
27 日本人子孫としての誇り

設問「日本人子孫であることに、あなたは誇りをもちますか？」

- | | |
|--------|------------|
| ①とても | 107(56.3%) |
| ②やや | 61(32.1%) |
| ③いいえ | 12(6.3%) |
| ④わからない | 10(5.3%) |

(N = 190)

前設問とは少し矛盾するようであるが、「とても(ある)」が56.3%、「やや」32.1%と両方で9割近くを占める。「いいえ」はわずかに6.3%に過ぎない。(前回設問なし)



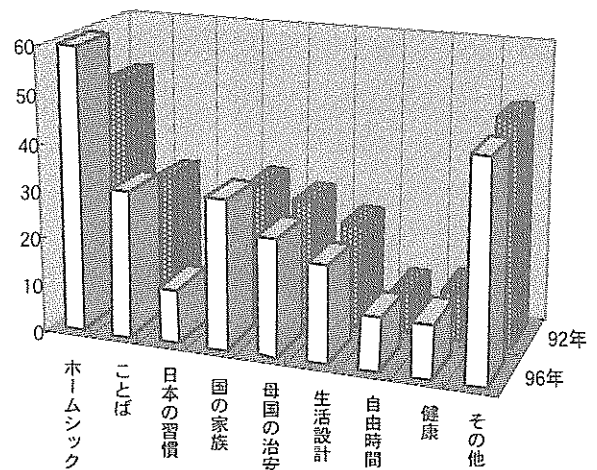
28 悩みや心配ごと

設問「あなたの悩みや心配は何ですか？」

- | | |
|------------------|------------|
| ①ホームシック | 126(60.0%) |
| ②ことばが通じない | 65(31.0%) |
| ③日本の習慣があわない | 24(11.4%) |
| ④日本人の考え方があわない | 13(6.2%) |
| ⑤職場や地域の人間関係 | 9(4.3%) |
| ⑥食べ物 | 11(5.2%) |
| ⑦国に残してきた配偶者のこと | 8(3.8%) |
| ⑧国に残してきた家族のこと | 66(31.4%) |
| ⑨連れてきた子供の教育や将来 | 12(5.7%) |
| ⑩母国の治安や経済状態が悪いこと | 52(24.8%) |
| ⑪将来の生活設計 | 43(20.5%) |
| ⑫自由時間や娯楽の時間がない | 24(11.4%) |
| ⑬家族や自分の健康 | 24(11.4%) |
| ⑭住居が狭い | 14(6.7%) |
| ⑮プライバシーがない | 11(5.2%) |
| ⑯仕事がない | 13(6.2%) |
| ⑰その他 | 5(2.4%) |

(N = 520。複数回答)

上位は「ホームシック」60.0%、「国に残してきた家族のこと」31.4%、「ことばが通じない」31.0%などである。ホームシックは11.5ポイントの上昇である。同じくポイント上昇の顕著なものは「日本の習慣があわない」11.4% (+5.8ポイント)、低下したものは「食べ物」5.2% (-4.6ポイント)がある。



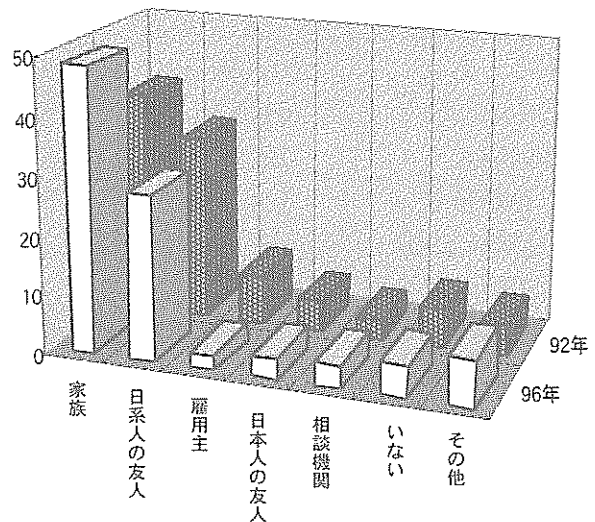
29 困ったときの相談相手

設問「困ったときの相談相手はだれですか？」

①家族	98(48.5%)
②日系人の友人	57(28.2%)
③神父	1(0.5%)
④雇用主	5(2.5%)
⑤日本人の友人	7(3.5%)
⑥公的相談機関	8(4.0%)
⑦いない	11(5.4%)
⑧その他	15(7.4%)

(N = 202)

「家族」48.5%、「日系人の友人」28.2%で8割近くを占める。家族の割合は9.9ポイントの上昇である。一方、雇用主との関係が親しいとしながらも実際には2.5%にとどまっている。また、悩みごとの内容は前設問からもわかるようにメンタルなものが多く、「公的相談機関」とする回答は4.0%と少ない。



30 地域社会での日本人との交流

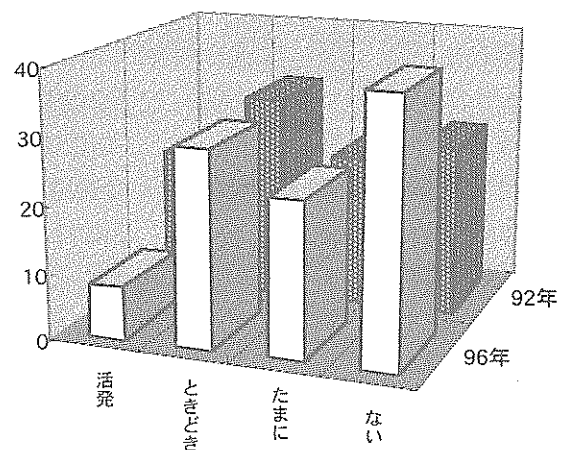
設問「地域社会での日本人との交流はありますか？」

①とても活発	16(8.0%)
②ときどきある	59(29.3%)
③たまにしかない	47(23.4%)
④ほとんどない	79(39.3%)

(N = 201)

交流が「ほとんどない」とする回答がもっとも多く39.3%、「ときどきある」29.3%、「たまにしかない」23.4%となっている。これらの否定的回答は、6割以上にのぼっている。前回との比較では、ほとんどないとする回答が14.0ポイントの上昇である。

この要因としては、日系人関係コミュニティ及びマーケットの確立により、日系人同士のつきあいの場面が増えていること、また、若年層の増加により日本語ができないという問題も存在していることがあげられよう。



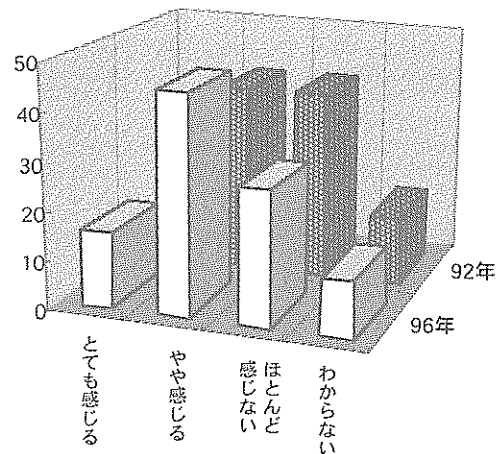
31 日本人との人間関係の壁

設問「地域社会で、日本人との間に人間関係の壁を感じますか?」

- ①とても感じる 31(15.6%)
- ②やや感じる 90(45.2%)
- ③ほとんど感じない 55(27.6%)
- ④わからない 23(11.6%)

(N = 199)

前設問での交流機会の減少を裏づけるように、「やや感じる」45.2%、「とても感じる」15.6%であり、両者で6割を占める。ちなみに前回調査より両者で16.1ポイントの上昇である。



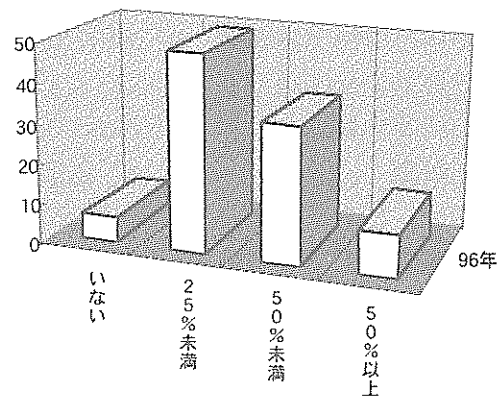
32 近隣の日系人の居住状況

設問「隣近所には日系人がどのくらい住んでいますか?」

- ①まったくいない 12(6.2%)
- ②25%未満 96(49.2%)
- ③25-50%未満 66(33.8%)
- ④50%以上 21(10.8%)

(N = 195)

「25%未満」とする回答がもっとも多く49.2%、「25%以上50%未満」が33.9%、また「50%以上」とする回答も10.8%みられる。前回調査との比較データはないが、日系人同士で集住していることをうかがわせる。これは設問20-1の[住居形態]で会社の寮や社宅、会社契約の借家の割合が76.7%を占めることとも符合するものである。(前回設問なし)



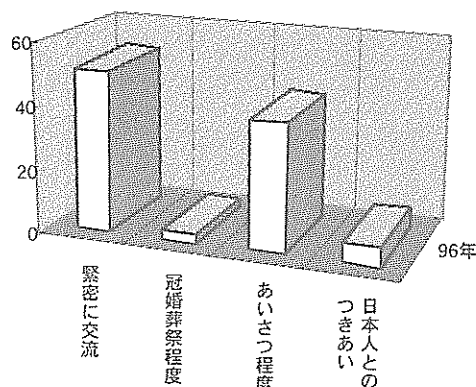
33 近隣の日系人との関係

設問「あなたの近隣の日系人との関係はどうですか？」

- ①緊密に交流し助けあっている 101(51.0%)
- ②冠婚葬祭程度のつきあい 5(2.5%)
- ③あいさつ程度で干渉はしない 80(40.4%)
- ④日本人とのつきあいがより活発 12(6.1%)

(N = 198)

「緊密に交流し助けあっている」が51.0%と過半数を占める。一方で、「あいさつ程度で干渉はしない」とする回答も40.4%みられ、二極分化という結果となっている。(前回設問なし)



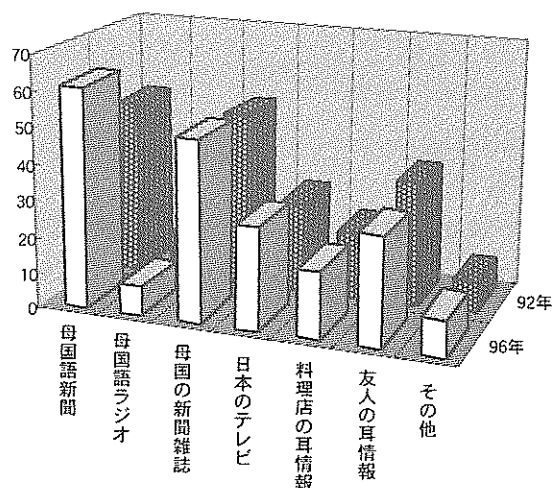
34 頼りにしているメディア

設問「あなたが一番頼りにしているメディアは何ですか？」

- ①日本で発行の母国語新聞 128(61.0%)
- ②日本で放送の母国語ラジオ 17(8.1%)
- ③母国の新聞や雑誌 105(50.0%)
- ④日本の新聞 6(2.9%)
- ⑤日本のテレビやラジオ 60(28.6%)
- ⑥母国料理店などでの耳情報 39(18.6%)
- ⑦友人や親戚からの耳情報 63(30.0%)
- ⑧その他 15(7.1%)

(N = 433。複数回答)

上位から順に、「日本で発行の母国語新聞」61.0%、「母国の新聞や雑誌」50.0%、「友人や親戚からの耳情報」30.0%、「日本のテレビやラジオ」28.6%である。当然のことであるが、母語によるものが圧倒的に高い。特に、浜松地域でのポルトガル語新聞の発刊を背景に、母国語新聞の割合は12.0ポイントの上昇となっている。



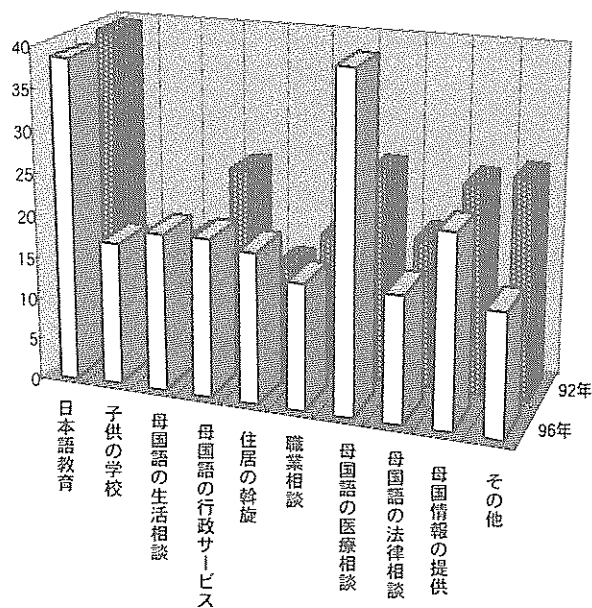
35 行政サービスへの要望

設問「あなたが一番して欲しい行政サービスは何ですか？」

①日本語教育	81(38.6%)
②子供の学校受け入れ	36(17.1%)
③母国語による生活相談の充実	40(19.0%)
④母国語による行政サービス	40(19.0%)
⑤住居の斡旋	38(18.1%)
⑥職業に関する相談や斡旋	32(15.2%)
⑦母国語による医療、薬事相談	84(40.0%)
⑧母国語による法律相談	32(15.2%)
⑨娯楽、教養イベントの企画	13(6.2%)
⑩母国情報の提供	48(22.9%)
⑪文化、スポーツなどの情報	20(9.5%)
⑫その他	7(3.3%)

(N = 471。複数回答)

「母国語による医療・薬事相談」が40.0%と首位に、以下、「日本語教育」38.6%、「母国情報の提供」22.9%などである。前回との比較で上昇したものは、母国語による医療・薬事相談が14.8ポイント、「子供の学校受け入れ」が10.1ポイントであり、滞在の長期化にともない医療や教育がより重要な関心事となっていることがうかがえる。



【将来の生活】

36 日本への定住意識

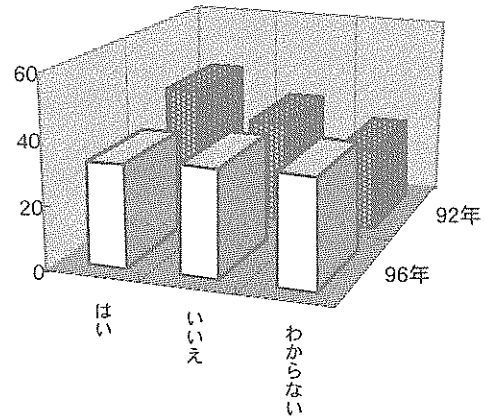
設問「日本に良い仕事があり、受け入れが良ければ日本に定住したいですか？」

- ①はい 66(31.9%)
- ②いいえ 70(33.8%)
- ③わからない 71(34.3%)

(N = 207)

「はい」31.9%、「いいえ」33.8%、「わからない」34.3%と、ほぼ三分割という結果である。前回との比較では、定住とする回答が8.9ポイントの低下となっている。

この要因としては、前回調査時よりもブラジル、ペルーの経済の安定化（インフレの鎮静化など）も考慮しておく必要があるだろう。



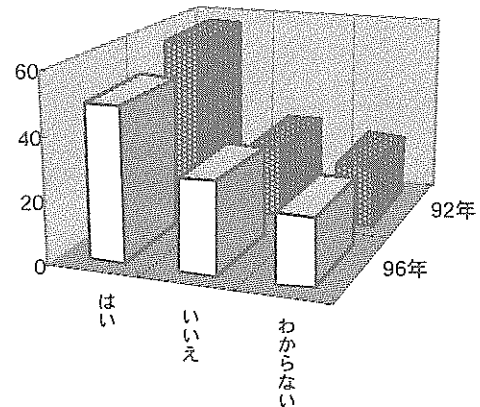
37 両国での生活基盤意識

設問「日本に良い仕事があり、受け入れが良ければ日本と母国の両方に生活基盤をおきたいですか？」

- ①はい 100(49.3%)
- ②いいえ 59(29.0%)
- ③わからない 44(21.7%)

(N = 203)

「はい」が約半数の49.2%、「いいえ」29.0%、「わからない」21.7%となっている。前回との比較では、やはり「はい」とする回答が7.2ポイントの低下である。



【子供の教育】

*以下の設問は、今回新たに設けたものであり、学齢期の子供がいる者の回答である。

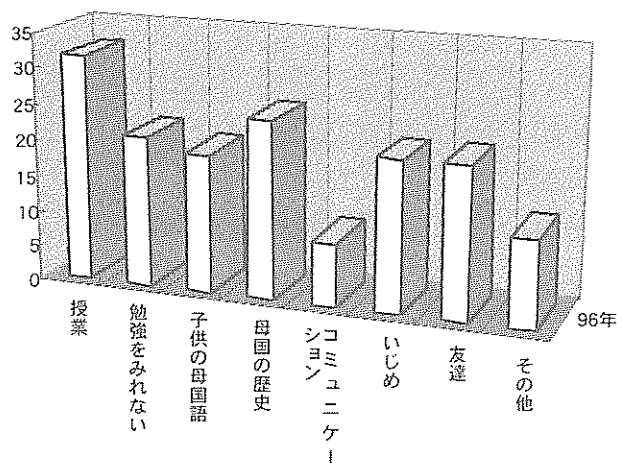
38 子供の教育の悩み

設問「子供の教育の悩みは何ですか？」

- | | |
|---------------------|-----------|
| ①授業についていけない | 18(31.6%) |
| ②子供の勉強をみてやれない | 12(21.1%) |
| ③子供の母国語が不自由である | 11(19.3%) |
| ④母国語や歴史の勉強が遅れる | 14(24.6%) |
| ⑤先生とのコミュニケーションがとれない | 5(8.8%) |
| ⑥いじめられる | 12(21.1%) |
| ⑦友達ができない | 12(21.1%) |
| ⑧その他 | 7(12.3%) |

(N = 91。複数回答)

回答にバラつきがみられるが、上位から「授業についていけない」31.6%、「母国語や歴史の勉強が遅れる」24.6%、さらには、「子供の勉強をみてやれない」「いじめられる」「友達ができない」が各21.1%となっている。



39 母国の分校への入学

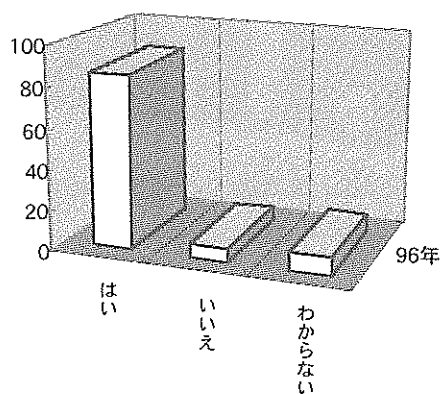
設問「母国の学校の分校があれば入れますか？」

- | | |
|--------|-----------|
| ①はい | 43(86.0%) |
| ②いいえ | 3(6.0%) |
| ③わからない | 4(8.0%) |

(N = 50)

「はい」が86.0%であり、母国のカリキュラムに基づいた授業に対する要望は極めて高いものがある。

なお、平成7年9月に、ブラジルの学校法人の浜松校(コレジオ・アングロ・アメリカノ)が開設されている。



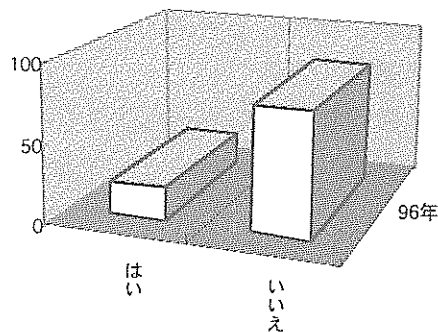
40-1 母国語の補習クラスへの通学

設問「母国語の補習クラスに通っていますか?」

- ①はい 14(28.0%)
- ②いいえ 36(72.0%)

(N = 50)

「いいえ」72.0%、「はい」28.0%。市内の小・中学校では、ポルトガル語やスペイン語などの母語教育が進んできているので、「いいえ」は市外在住者の回答が多いと思われる。



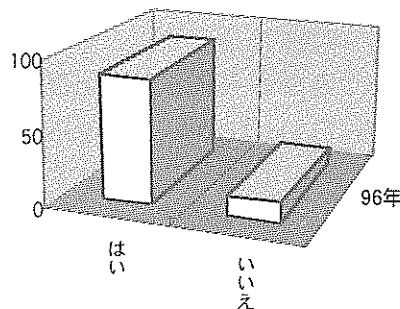
40-2 同通学意向

設問「母国語の補習クラスがあれば通わせますか?」

- ①はい 22(91.7%)
- ②いいえ 2(8.3%)

(N = 24)

「はい」が91.7%とほとんどの人が母国語教育の必要性を感じている。



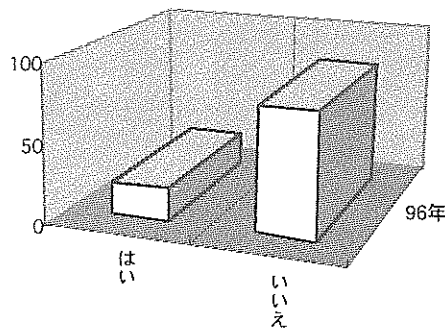
41-1 日本語の補習クラスへの通学

設問「日本語の補習クラスに通っていますか?」

- ①はい 10(21.3%)
- ②いいえ 37(78.7%)

(N = 47)

「いいえ」78.7%であり、母国語の補習クラスと同じような結果となっている。



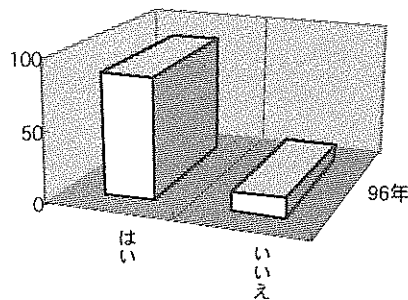
41-2 同通学意向

設問「日本語の補習クラスがあれば通わせますか?」

- ①はい 25(86.2%)
- ②いいえ 4(13.8%)

(N = 29)

「はい」とする回答が86.2%と大半を占める。なお、市内の小・中学校の外国人児童・生徒約500人については、ことばの教室等でカバーされている。



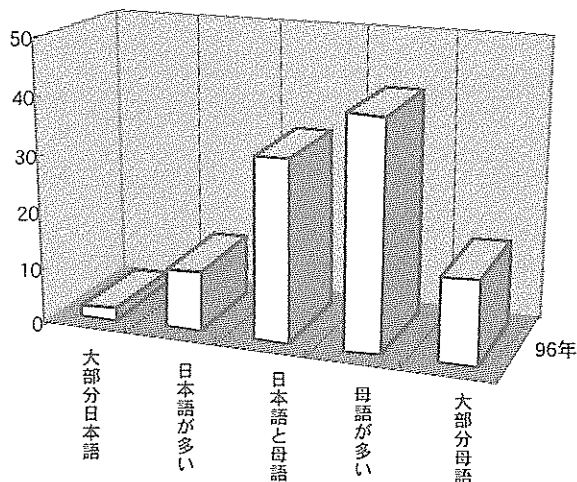
42-1 父子間の使用言語

設問「あなたの家庭での父子間の使用言語を教えてください」

- ①大部分が日本語 1(2.1%)
- ②日本語が多い 5(10.7%)
- ③日本語と母語が半々 15(31.9%)
- ④母語が多い 19(40.4%)
- ⑤大部分が母語 7(14.9%)

(N = 47)

「母語が多い」40.4%、「日本語と母語が半々」31.9%であり、両者で7割以上。母語のウエートが高いことがわかる。これは、母語教育と同時に、父親が日本語ができないという側面も考慮しておく必要がある。



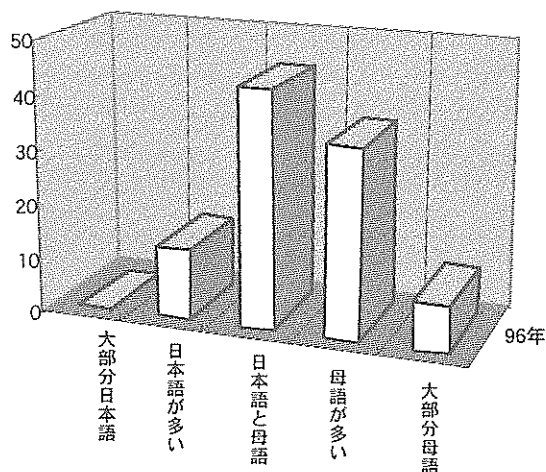
42-2 母子間の使用言語

設問「あなたの家庭での母子間の使用言語を教えてください」

- ①大部分が日本語 0(0.0%)
- ②日本語が多い 6(13.0%)
- ③日本語と母語が半々 20(43.5%)
- ④母語が多い 16(34.8%)
- ⑤大部分が母語 4(8.7%)

(N = 46)

「日本語と母語が半々」43.5%であり、次に「母語が多い」34.8%。母語のウエートが高いが、父子間のそれよりも低くなっている。これは、母親のほうが日本語能力が高いという一面をうかがわせるものでもある。



集計結果表

日系人の生活実態・意識調査'96/集計表

【基本属性】

1 国籍

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
ブラジル	185	90.2%	336	78.3%	
ペルー	14	6.8%	88	20.5%	
日本国籍	3	1.5%	4	0.9%	
二重国籍	3	1.5%	-	-	
その他	0	0.0%	1	0.2%	
計	205	100.0%	429	100.0%	

2 登録市町村

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
浜松市	113	55.1%	227	54.3%	
浜松市以外の県内	61	29.8%	114	27.3%	
愛知県	18	8.8%	52	12.4%	
その他	13	6.3%	25	6.0%	
計	205	100.0%	418	100.0%	

3 年齢

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
15歳未満	2	0.9%	0	0.0%	
15-19歳	27	12.9%	52	12.8%	
20-24	69	32.9%	132	32.6%	
25-29	44	21.0%	104	25.7%	
30-34	34	16.2%	52	12.8%	
35-39	12	5.7%	28	6.9%	
40-44	11	5.2%	19	4.7%	
45-49	7	3.3%	8	2.0%	
50歳以上	4	1.9%	10	2.5%	
計	210	100.0%	405	100.0%	

4 性別

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
男性	109	52.4%	311	73.2%	
女性	99	47.6%	114	26.8%	
計	208	100.0%	425	100.0%	

5 配偶者

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
あり	117	56.3%	182	42.8%	
なし	91	43.7%	243	57.2%	
計	208	100.0%	425	100.0%	

6 日系何世か

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
1 世	25	12.6%	22	5.3%	
2 世	73	36.7%	208	50.1%	
3 世	78	39.2%	163	39.3%	
4 世	3	1.5%	2	0.5%	
その他	20	10.0%	20	4.8%	
計	199	100.0%	415	100.0%	

7 日本語能力

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
読み書きともにできる	20	9.6%	32	7.6%	
会話ならできる	21	10.1%	59	14.1%	
何とか意思疎通できる	87	41.8%	208	49.6%	
聞いただけなら少しできる	48	23.1%	67	16.0%	
ほとんどできない	32	15.4%	53	12.6%	
計	208	100.0%	419	100.0%	

8 最終学歴

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
小・中学校卒	46	21.9%	71	16.9%	
高校卒	86	41.0%	140	33.3%	
専門学校卒	25	11.9%	58	13.8%	
短大卒	14	6.7%	36	8.6%	
大学卒	19	9.0%	75	17.8%	
大学在学中	12	5.7%	25	5.9%	
大学院修了	4	1.9%	8	1.9%	
その他	4	1.9%	8	1.9%	
計	210	100.0%	421	100.00%	

9 来日前の職業

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
農業	16	7.6%	26	6.1%	
会社員	48	23.0%	115	26.9%	
職人	9	4.3%	19	4.4%	
公務員	16	7.7%	37	8.7%	
自営業	26	12.4%	65	15.2%	
医者、弁護士、教員	10	4.8%	37	8.7%	
主婦	4	1.9%	7	1.6%	
学生・生徒	55	26.3%	76	17.8%	
その他	25	12.0%	45	10.5%	
計	209	100.0%	427	100.0%	

10-1 日本での家族構成

(前回データなし)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
単身	46	22.6%			
夫婦のみ	44	21.6%			
夫婦と子供	37	18.1%			
祖父母を含む大家族	18	8.8%			
その他	59	28.9%			
計	204	100.0%			

10-2 日本での家族員数

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
1人	18	9.8%	84	26.8%	
2人	41	22.3%	84	26.8%	
3人	24	13.1%	66	21.1%	
4人	28	15.2%	36	11.5%	
5人	19	10.3%	13	4.2%	
6人	13	7.1%	12	3.8%	
7人	10	5.4%	4	1.3%	
8人	5	2.7%	2	0.6%	
9人	0	0.0%	6	1.9%	
10人以上	26	14.1%	6	1.9%	
計	184	100.0%	313	100.0%	

10-3 呼び寄せたい家族

(前回データなし)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
妻	5	3.3%			
夫	5	3.3%			
婚約者や恋人	7	4.6%			
子供	13	8.6%			
親	52	34.2%			
兄弟・姉妹	26	17.1%			
その他	44	28.9%			
計	152	100.0%			

【日本での仕事】

11-1 来日の目的

(複数回答。2つ以内)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
貯蓄	102	48.6%	182	42.4%	
技術習得	11	5.2%	38	8.9%	
適職がない	7	3.3%	13	3.0%	
日本を知るため	48	22.9%	112	26.1%	
母国には希望がない	33	15.7%	94	21.9%	
親族訪問や先祖の墓参	2	1.0%	14	3.3%	
観光	6	2.9%	8	1.9%	
留学	5	2.4%	8	1.9%	
母国の治安や経済が悪い	102	48.6%	173	40.3%	
その他	21	10.0%	43	10.0%	
計	337	-	685	-	

11-2 貯蓄の目的

(複数回答。2つ以内)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
生活費送金	20	19.6%	106	24.7%	
事業資金	62	60.8%	207	48.3%	
住宅資金	59	57.8%	195	45.5%	
旅行資金	1	1.0%	13	3.0%	
教育資金	16	15.7%	51	11.9%	
日本定住資金	0	0.0%	12	2.8%	
家族の日本呼び寄せ資金	0	0.0%	14	3.3%	
耐久消費財購入資金	10	9.8%	41	9.6%	
未定	1	1.0%	31	7.2%	
その他	2	2.0%	15	3.5%	
計	171	-	685	-	

12-1 健康保険への加入

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
はい	128	62.7%	277	67.2%	
いいえ	63	30.9%	117	28.4%	
わからない	13	6.4%	18	4.4%	
計	204	100.0%	412	100.0%	

12-2 保険の種類

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
国民健康保険	31	25.6%	172	62.1%	
社会保険	61	50.4%	82	29.6%	
旅行傷害保険	12	9.9%	9	3.2%	
その他	17	14.1%	14	5.1%	
計	121	100.0%	277	100.0%	

13-1 日本での治療経験

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
はい	95	48.5%	149	36.8%	
いいえ	101	51.5%	256	63.2%	
計	196	100.0%	405	100.0%	

13-2 治療時に困ったこと

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
医療費の支払	7	9.2%	9	6.5%	
診察時にことばがわからない	40	52.6%	84	60.4%	
入院で収入が途絶えた	7	9.2%	15	10.8%	
母国人の看護などがなく孤独	4	5.3%	12	8.6%	
その他	18	23.7%	19	13.7%	
計	76	100.0%	139	100.0%	

14 日本滞在期間

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
1年未満	35	17.5%	101	29.0%	
1年-2年未満	32	16.1%	153	44.0%	
2年-3年未満 (前回/3年以上)	30	15.1%	94	27.0%	
3年-4年未満	32	16.1%	-		
4年-5年未満	30	15.1%	-		
5年-6年未満	30	15.1%	-		
6年-7年未満	8	4.0%	-		
7年以上	2	1.0%	-		
計	199	100.0%	348	100.0%	

15-1 不景気の影響

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
とても見つけにくい	40	19.5%	106	26.5%	
やや見つけにくい	131	63.9%	207	51.8%	
変わらない	11	5.4%	44	11.0%	
わからない	23	11.2%	43	10.8%	
計	205	100.0%	400	100.0%	

15-2 帰国を考えたこと

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
ある	66	32.7%	109	29.4%	
ない	136	67.3%	262	70.6%	
計	202	100.0%	371	100.0%	

16 就労業種

(前回データなし)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
自動車関係の製造業	88	44.0%			
電気関係の製造業	48	24.0%			
その他の製造業	43	21.5%			
冷凍食品などの食品関係	2	1.0%			
レストランなどの飲食関係	0	0.0%			
ブラジル料理店、同小売店	2	1.0%			
クリーニング業	0	0.0%			
建設業	2	1.0%			
その他	15	7.5%			
計	200	100.0%			

17-1 時間給

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
1,000円未満	73	44.0%	71	22.3%	
1,000円-1,200円未満	14	8.4%	39	12.3%	
1,200円-1,400円未満	68	41.0%	152	47.8%	
1,400円-1,600円未満	9	5.4%	51	16.0%	
1,600円-1,800円未満	0	0.0%	5	1.6%	
1,800円以上	2	1.2%	0	0.0%	
計	166	100.0%	318	100%	

17-2 平均月収

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
10万円未満	5	3.4%	1	0.5%	
10-20万円未満	52	34.9%	41	18.8%	
20-30万円未満	51	34.2%	88	40.4%	
30-40万円未満	33	22.1%	78	35.8%	
40-50万円未満	8	5.4%	7	3.2%	
50万円以上	0	0.0%	3	1.4%	
計	149	100.0%	218	100.0%	

18 月収に対する満足度

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
大変満足	9	4.7%	25	6.2%	
満足	44	23.3%	96	23.8%	
やや満足	57	30.2%	91	22.6%	
不景気なので仕方ない	52	27.5%	122	30.3%	
不満	27	14.3%	69	17.1%	
計	189	100.0%	403	100.0%	

【日本での生活】

19 休日の過ごし方

(複数回答。3つ以内)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
家で休養	100	47.6%	223	52.0%	
母国料理店などで食事	19	9.0%	49	11.4%	
親族、友人とのホームパーティー	70	33.3%	138	32.2%	
テレビやビデオ鑑賞	90	42.9%	108	25.2%	
音楽を聞く	35	16.7%	93	21.7%	
パチンコ	4	1.9%	29	6.8%	
デート	18	8.6%	42	9.8%	
サッカーをする	13	6.2%	32	7.5%	
サッカーを観戦	4	1.9%	6	1.4%	
ドライブ	19	9.0%	40	9.3%	
野球、スキーなどのスポーツ	12	5.7%	34	7.9%	
ショッピング	50	23.8%	125	29.1%	
旅行	15	7.1%	27	6.3%	
日本語などの学習	22	10.5%	34	7.9%	
その他	20	9.5%	27	6.3%	
計	491	-	1,007	-	

20-1 住居形態

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
会社の寮や社宅	57	27.7%	141	34.7%	
会社契約の借家	101	49.0%	220	54.2%	
会社が一部補助の借家	10	4.9%	14	3.4%	
全部自己負担の借家	29	14.1%	18	4.4%	
持ち家	3	1.4%	3	0.7%	
その他	6	2.9%	10	2.5%	
計	206	100.0%	406	100.0%	

20-2 通勤方法

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
自家用車	24	11.9%	53	13.4%	
自転車、バイク	62	30.8%	109	27.5%	
バス、電車	16	8.0%	32	8.1%	
会社が送迎	73	36.3%	156	39.3%	
徒歩	15	7.5%	46	11.6%	
その他	11	5.5%	1	0.3%	
計	201	100.0%	397	100.0%	

21 日本人従業員との関係

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
うまくいっている	175	85.8%	354	88.7%	
うまくいっていない	12	5.9%	15	3.8%	
わからない	17	8.3%	30	7.5%	
計	204	100.0%	399	100.0%	

22 雇用主との関係

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
とても親しい	72	35.6%	143	36.2%	
親しい	107	53.0%	194	49.1%	
気持ちが通じない	6	3.0%	17	4.3%	
誤解が多い	3	1.5%	19	4.8%	
その他	14	6.9%	22	5.6%	
計	202	100.0%	395	100.0%	

23 仕事内容の満足度

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
大変満足	37	18.3%	67	16.9%	
満足	134	66.3%	256	64.5%	
不満	20	9.9%	44	11.1%	
どちらともいえない	11	5.5%	30	7.6%	
計	202	100.0%	397	100.0%	

24 生活の満足度

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
大変満足	42	20.3%	59	14.5%	
満足	129	62.3%	265	65.1%	
不満	22	10.6%	48	11.8%	
どちらともいえない	14	6.8%	35	8.6%	
計	207	100.0%	407	100.0%	

25-1 差別や偏見意識

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
頻繁に	40	19.9%	57	13.9%	
ときどき	121	60.2%	243	59.4%	
ない	30	14.9%	84	20.5%	
どちらともいえない	10	5.0%	25	6.1%	
計	201	100.0%	409	100.0%	

25-2 差別や偏見の内容

(複数回答。2つ以内)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
きつい仕事をまわされる	71	33.8%	111	25.9%	
報奨金（ボーナス）が少ない	42	20.0%	69	16.1%	
時間給が少ない	13	6.2%	29	6.8%	
きつい時間帯にまわされる	9	4.3%	17	4.0%	
住居が狭い	13	6.2%	44	10.3%	
給料支払が遅れる	4	1.9%	26	6.1%	
日本人より先に解雇される	59	28.1%	41	9.6%	
社員食堂が日本人とは別	10	4.8%	5	1.2%	
仕事を全部教えてくれない	16	7.6%	39	9.1%	
けなすことばをかけられる	32	15.2%	41	9.6%	
日本人社会に受け入れられない	35	16.7%	63	14.7%	
仕事を見つけにくい	15	7.1%	37	8.6%	
アパートを貸してくれない	51	24.3%	76	17.7%	
その他	17	8.1%	38	8.9%	
計	387	-	636	-	

26 日本人意識

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
はい	18	9.1%	140	34.2%	
やや	71	35.8%	161	39.4%	
ない	94	47.5%	53	13.0%	
わからない	15	7.6%	55	13.4%	
計	198	100.0%	409	100.0%	

27 日本人子孫としての誇り

(前回データなし)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
とても	107	56.3%			
やや	61	32.1%			
いいえ	12	6.3%			
わからない	10	5.3%			
計	190	100.0%			

28 悩みや心配ごと

(複数回答。2つ以内)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
ホームシック	126	60.0%	208	48.5%	
ことばが通じない	65	31.0%	119	27.7%	
日本の習慣があわない	24	11.4%	24	5.6%	
日本人の考え方があわない	13	6.2%	24	5.6%	
職場や地域の人間関係	9	4.3%	21	4.9%	
食べ物	11	5.2%	42	9.8%	
国に残してきた配偶者のこと	8	3.8%	21	4.9%	
国に残してきた家族のこと	66	31.4%	122	28.4%	
連れてきた子供の教育や将来	12	5.7%	21	4.9%	
母国の治安や経済状が悪いこと	52	24.8%	111	25.9%	
将来の生活設計	43	20.5%	94	21.9%	
自由時間や娯楽の時間がない	24	11.4%	38	8.9%	
家族や自分の健康	24	11.4%	44	10.3%	
住居が狭い	14	6.7%	21	4.9%	
プライバシーがない	11	5.2%	22	5.1%	
仕事がない	13	6.2%	20	4.7%	
その他	5	2.4%	12	2.8%	
計	520	-	964	-	

29 困ったときの相談相手

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
家族	98	48.5%	155	38.6%	
日系人の友人	57	28.2%	128	31.8%	
神父	1	0.5%	-		
雇用主	5	2.5%	34	8.5%	
日本人の友人	7	3.5%	22	5.5%	
公的相談機関	8	4.0%	14	3.5%	
いない	11	5.4%	27	6.7%	
その他	15	7.4%	22	5.5%	
計	202	100.0%	402	100.0%	

30 地域社会での日本人との交流

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
とても活発	16	8.0%	86	21.3%	
ときどきある	59	29.3%	124	30.8%	
たまにしかない	47	23.4%	91	22.6%	
ほとんどない	79	39.3%	102	25.3%	
計	201	100.0%	403	100.0%	

31 日本人との人間関係の壁

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
とても感じる	31	15.6%	32	8.0%	
やや感じる	90	45.2%	154	38.7%	
ほとんど感じない	55	27.6%	155	38.9%	
わからない	23	11.6%	57	14.3%	
計	199	100.0%	398	100.0%	

32 近隣の日系人の居住状況

(前回データなし)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
まったくいない	12	6.2%			
25%未満	96	49.2%			
25%以上50%未満	66	33.8%			
50%以上	21	10.8%			
計	195	100.0%			

33 近隣の日系人との関係

(前回データなし)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
緊密に交流し助けあっている	101	51.0%			
冠婚葬祭程度のつきあい	5	2.5%			
あいさつ程度で干渉はしない	80	40.4%			
日本人とのつきあいがより活発	12	6.1%			
計	198	100.0%			

34 頼りにしているメディア

(複数回答。3つ以内)

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
日本で発行の母国語新聞	128	61.0%	210	49.0%	
日本で放送の母国語ラジオ	17	8.1%	52	12.1%	
母国の新聞や雑誌	105	50.0%	209	48.7%	
日本の新聞	6	2.9%	10	2.3%	
日本のテレビやラジオ	60	28.6%	108	25.2%	
母国料理店などでの耳情報	39	18.6%	79	18.4%	
友人や親戚からの耳情報	63	30.0%	149	34.7%	
その他	15	7.1%	27	6.3%	
計	433	-	844	-	

35 行政サービスへの要望

(複数回答。3つ以内)

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
日本語教育	81	38.6%	169	39.4%	
子供の学校受け入れ	36	17.1%	30	7.0%	
母国語による生活相談の充実	40	19.0%	63	14.7%	
母国語による行政サービス	40	19.0%	102	23.8%	
住居の斡旋	38	18.1%	54	12.6%	
職業に関する相談や斡旋	32	15.2%	73	17.0%	
母国語による医療、薬事相談	84	40.0%	108	25.2%	
母国語による法律相談	32	15.2%	76	17.7%	
娯楽、教養イベントの企画	13	6.2%	51	11.9%	
母国情報の提供	48	22.9%	107	24.9%	
文化、スポーツなどの情報	20	9.5%	48	11.2%	
その他	7	3.3%	13	3.0%	
計	471	-	894	-	

【将来の生活】

36 日本への定住意識

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
はい	66	31.9%	165	40.8%	
いいえ	70	33.8%	132	32.7%	
わからない	71	34.3%	107	26.5%	
計	207	100.0%	404	100.0%	

37 両国での生活基盤意識

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
はい	100	49.3%	222	56.5%	
いいえ	59	29.0%	92	23.4%	
わからない	44	21.7%	79	20.1%	
計	203	100.0%	393	100.0%	

【子供の教育】

38 子供の教育の悩み

(複数回答。前回データなし)

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
授業についていけない	18	31.6%			
子供の勉強をみてやれない	12	21.1%			
子供の母国語が不自由である	11	19.3%			
母国語や歴史の勉強が遅れる	14	24.6%			
先生とのコミュニケーションがとれない	5	8.8%			
いじめられる	12	21.1%			
友達ができない	12	21.1%			
その他	7	12.3%			
計	91	-			

39 母国の分校への通学

(前回データなし)

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
はい	43	86.0%			
いいえ	3	6.0%			
わからない	4	8.0%			
計	50	100.0%			

40-1 母国語の補習クラスへの通学

(前回データなし)

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
はい	14	28.0%			
いいえ	36	72.0%			
計	50	100.0%			

40-2 同通学意向

(前回データなし)

項目	今回		前回		備考
	実数	割合	実数	割合	
はい	22	91.7%			
いいえ	2	8.3%			
計	24	100.0%			

41-1 日本語の補習クラスへの通学

(前回データなし)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
はい	10	21.3%			
いいえ	37	78.7%			
計	47	100.0%			

41-2 同通学意向

(前回データなし)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
はい	25	86.2%			
いいえ	4	13.8%			
計	29	100.0%			

42-1 父子間の使用言語

(前回データなし)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
大部分が日本語	1	2.1%			
日本語が多い	5	10.7%			
日本語と母語が半々	15	31.9%			
母語が多い	19	40.4%			
大部分が母語	7	14.9%			
計	47	100.0%			

42-2 母子間の使用言語

(前回データなし)

項 目	今 回		前 回		備 考
	実数	割合	実数	割合	
大部分が日本語	0	0.0%			
日本語が多い	6	13.0%			
日本語と母語が半々	20	43.5%			
母語が多い	16	34.8%			
大部分が母語	4	8.7%			
計	46	100.0%			

日系人の生活実態・意識調査 96
報告書

編集発行 浜松市国際交流室

〒430 浜松市元城町 103-2

TEL .053-457-2359 / FAX .053-457-2362

発行日 平成9年3月